

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：保健体育費 目：体育振興費

事業名 学校体育指導事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 体育健康課 学校体育係 電話番号：058-272-1111(内8716)

E-mail： c17769@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 865 千円 (前年度予算額：865 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	865	0	0	0	0	0	0	0	865
要求額	865	0	0	0	0	0	0	0	865
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

幼・小・中・高における体育指導者の資質や指導力向上を図るため、養成研修等に教諭を派遣し、伝達講習会等を実施する。

また、各学校で行った体力テストの結果を調査・分析することで、児童生徒の体力における課題等を明らかにし、検討会で改善事項や実践内容を検討した上で体力向上の取組を推進する。

(2) 事業内容

・教員研修

- ①体力向上マネジメント指導者養成研修派遣（開催地：茨城県）
- ②体育・保健体育指導力向上研修派遣（開催地：宮城県）
- ③幼・小・中・高等学校体育実技指導者講習会（伝達講習）
- ④中・高等学校武道（剣道・柔道）指導講習会
- ⑤幼児運動遊び指導者講習会

・体力テスト調査データ集計処理

業者に調査データ集計処理を委託

・子どもの体力づくりに係る取組み

体力向上に係る検討会を設置し、授業や学校全体で取組むことができる運動プログラムの開発、普及を図る。

新体力テストを実施する1学期と他学期の平均記録の差がどれだけ伸びたかで順位づけを行い、各項目、各学年の上位5学級を表彰する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

県内全域への事業であるため、県負担が妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	325	講師
旅費	324	養成研修、伝達講習等
需用費	0	賞状作成
委託料	173	調査データ集計処理
使用料	43	講習会
合計	865	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

(1) 法令等との関係

「小学校学習指導要領 体育」「中学校学習指導要領 保健体育」

- ・ 小学校低・中学年、中学校で授業時間を増加
- ・ 中学校の第1学年及び第2学年で武道、ダンスが必修化

(2) 各種計画での位置づけ

・ 第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針1 んぎふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成

目 標4 優れた才能や個性を伸ばす教育の推進

基本方針3 未来を切り拓くための基礎となる力を育む教育の推進

目 標16 体力づくりの推進

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

体育科教諭に最新の指導方法等を伝えるための伝達講習会を実施し、指導者の資質向上や、児童生徒の体力・運動能力調査の分析に基づき、体力向上に向けた取組を推進します。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①各種講習会・検討会実施回数		14回	14回	21回	14回	100%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 体力向上マネジメント指導者養成研修、体育・保健体育指導力向上研修派遣 ※コロナウイルス感染拡大防止によりWebにて参加。 小中高等学校体育実技指導者講習会（伝達講習）を紙面にて実施。 研修会は通常開催ができないときもあったが、Webでの開催や、講師から資料を提供してもらい配布することで、少しでも受講生にとって有益となる研修になるよう心掛けた。</p>
令和3年度	<p>令和5年度当初予算にて追加 体力向上マネジメント指導者養成研修、体育・保健体育指導力向上研修派遣については新型コロナウイルス感染症拡大によりWebにて参加。 小中学校体育実技指導者講習会（伝達講習）については参集にて実施、高等学校体育実技指導者講習会（伝達講習）についてはWebにて実施。 研修会及び講習会については通常開催ができないときもあったが、Webでの開催など開催方法を工夫することで、少しでも受講生にとって有益となる研修になるよう心掛けた。</p> <p>指標① 目標：<u>14</u> 実績：<u>14</u> 達成率：<u>100</u> %</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新学習指導要領に沿った最新の工夫がなされた指導方法を伝達するために、本事業は必要である。また、新体力テストの結果集計は、県内の児童生徒の実態と全国の結果とを比較する上で重要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校現場の指導者のニーズに応えた種目の講習会を設けることで効果がある一方、コロナ禍による児童生徒の体力向上に向けた取組は十分にできなかった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受講対象者のキャリアステージに応じた内容の研修となっている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 県全体として体育指導者の資質向上を継続的に図る必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 指導者の資質向上は、常に求められていることや、児童生徒の体力向上は喫緊の課題であることを勘案し、事業の継続及び手立てが必要。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	